

学校関係者評価委員会

期間：令和３年２月２２日（月）～３月３日（水）

分析：父母の会役員 ５名

（自己評価）

コロナ禍という難しい状況の中、認定こども園として園児や保護者の安全に配慮しながら、意見や要望に応えようとする職員の姿を感じることができた。

（保護者アンケートについて）

・園児について

例年と変わらず、ほとんどの園児が園生活を楽しみ、登園している様子がみてとれる。園での出来事を家庭でよく話している子も多いことが分かった。

また昨年と同様、園の準備については保護者がしている割合も多い印象はあるものの、「自分でしている」「親が用意したものを自分でかばんに入れている」等、成長を感じるという意見も見られた。

・園について

昨年に続き、写真付きのクラス便りや伝書鳩、送迎時などに子供の様子を伝えてもらえることなどから、職員が子供たちときちんと向き合ってくれていると感じている保護者が多かった。また年間行事については、コロナ禍においてもほとんどの保護者が、「充実している」とこたえており、コロナの状況下でもできる限り行事を行えるよう対策を行ってくれた園に対して好評価であった。

一方で、安全管理・衛生管理の観点からは「マスクの徹底がなされていない」「給食前の手洗い、消毒を徹底してほしい」といった意見が、ほかの項目に比べ多く、感染対策に対する不安も見てとれた。

・職員について

認定こども園への移行以来の保護者の多様化に加え、感染対策と保育業務の両立など難しい課題の多かった今年度においても、「職員間の連携が取れている」「職員に活気がある」の項目に関して、A:そう思う・B:やや思うを合わせて１００％という結果を出しており、保護者の職員に対する満足度が見てとれた。

（その他）

コロナウィルスの流行による緊急事態宣言や感染対策に振り回される中、職員の皆さんが、子供たちも保護者も安心して通える園の運営に努めてくれていることを感じた１年だった。

コロナの終息はまだ見えませんが、次年度も園児たちの健全な園生活へのサポートをよろしくお願いします。

父母の会 会員一同